

**製品名: エフリン A4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10536**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	95kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EFNA4
別名	EFNA4; EPLG4; LERK4; Ephrin-A4; EPH-related receptor tyrosine kinase ligand 4; LERK-4
遺伝子 ID	1945.0
SwissProt ID	P52798
免疫原	抗血清はヒト EFNA4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180

**背景**

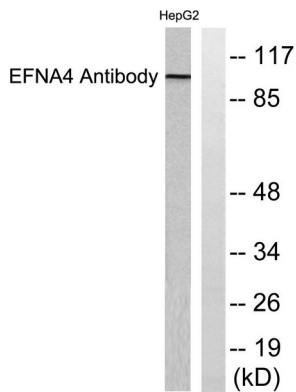
この遺伝子はエフリン（EPH）ファミリーのメンバーをコードします。エフリンおよび EPH 関連受容体は、受容体タンパク質チロシンキナーゼの最大のサブファミリーを構成し、特に神経系および赤血球生成における発生過程の媒介に関与していることが示唆され

ています。構造と配列関係に基づき、エフリンはグリコシルホスファチジルイノシトール結合によって膜に固定されるエフリン A (EFNA) クラスと、膜貫通タンパク質であるエフリン B (EFNB) クラスに分類されます。この遺伝子は EFNA クラスのエフリンをコードします。異なるタンパク質をコードする3つの転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: 扁桃腺における活性化 B リンパ球と樹状細胞との相互作用に関与している可能性がある。、類似性: エフリンファミリーに属する。、組織特異性: 成人の脾臓、リンパ節、前立腺、卵巣、小腸、結腸、および胎児の心臓、肺、肝臓、腎臓に発現する。造血細胞株にも検出される。、

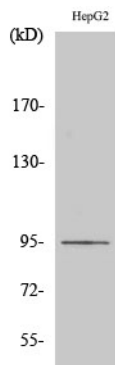
## 研究分野

軸索ガイダンス;

## 画像データ



EFNA4 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 500 に希釈したエフリン A4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析